

DV

「ドメスティック・バイオレンス」のこと、 知ってほしい

パートナーや恋人からの暴力を考える

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、夫婦や恋人などの親密な関係の中で起こる暴力のことです。親密な関係ゆえに、そこで起こる暴力は、外からはわかりづらいものの、決してめずらしいことでも特別なことでもありません。DVは深刻化しており、被害に遭った人に寄り添い、また、どう対応するのかについても、私たち一人ひとりがDVのことを理解して、社会全体で暴力をなくすよう取り組むことが求められています。

暴力にはさまざまな形態があります。多くの場合、DVは何種類かの暴力が重なって起きています。

相談室 だより

今回はDVについて
お伝えします。

DVは力の差がある支配／被支配関係です。暴力は相手を思い通りに支配したり、支配を強化したりするための手段として行われます。幅広い年齢層のパートナー間で起こっています。

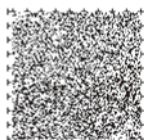
「DVはごく一部の人、特別な人に起こっている」「殴られる方にも原因がある」「暴力がひどければ逃げるはず」……これらはDVに対する思い込みの一例です。

暴力を振るわれていい人はいません DVは暴力を行使する加害者の問題です。一度でも暴力にさらされたら、被害当事者はまた同じ目にあう不安や緊張を強いられます。ただ、相手がたまに優しく振舞うこともあり、同一人物から愛情のようなものと暴力という真逆な行為を受けると被害当事者は混乱させられ、愛情と暴力を混同して相手と離れられない心理状態（トラウマボンド）に陥る場合もあります。また報復を恐れたり、孤立状態になったり、あるいは経済的な理由等もあり、相手から逃げることは容易ではありません。

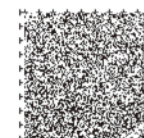
DVが起る背景や影響 暴力を容認する社会構造の存在や「愛情表現としての暴力もある」等誤った恋愛観、「女性は家庭を守る存在」「男性は大黒柱」等といった根強いジェンダー規範等があげられます。ジェンダー規範が性差別意識を生み、それが暴力に繋がることもあります。家族は社会の縮図でもあり、ジェンダー規範の再生産の場になりやすいことを意識することも大切です。

被害を受けると、大人も、そしてDVに巻き込まれる子どもも、他者への信頼や安全感を喪失し心身に様々な症状が生じたり、トラウマという心の傷を抱えたりする場合があります。被害当事者が自分の力を取り戻すためにも、子どもたちが健全な人間関係を学ぶためにも、DVは社会の問題として正しく理解されることが必要です。

相談されたら、気づいたら 被害当事者の話を疑ったり、軽視したり、責めるといった二次被害を与えずに、当事者の力を信じて、その自己決定をサポートすることが大切です。一人で抱えずに少しだけ勇気を出して専門機関を利用してください。共に繋がり、考えてみませんか。



次期久留米市男女共同参画行動計画 について答申を受けました



市は、次期久留米市男女共同参画行動計画の策定にあたり、今後、取り組むべき施策等に関する考え方について、久留米市男女平等政策審議会へ諮問を行いました。

諮問を受け、審議会では、教育・社会参画部会、労働部会、生活・福祉部会及び全体会での協議に加え、「市民の意見を聴く会」を開催し、検討を重ねられ、令和7年3月19日に審議会の堀田会長から、原口市長に答申書が手渡されました。

この答申を踏まえ、次期久留米市男女共同参画行動計画を策定していきます。



答申を受ける原口市長（右）と堀田会長（左）

答申の主な内容

各部会からの提言

●教育・社会参画部会

- ・ジェンダー平等教育
- ・政策・方針決定過程への女性の参画の促進
- ・家庭・地域におけるジェンダー平等の促進
- ・久留米女性週間の実施

●労働部会

- ・雇用の分野におけるジェンダー平等の促進
- ・農業・商工自営業におけるジェンダー平等の促進
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現

●生活・福祉部会

- ・DVの防止及び被害者支援の充実
- ・性暴力の防止及び被害者支援の充実
- ・生涯を通じた男女の健康支援
- ・困難を抱える女性等が、安全に安心して暮らせる環境の整備
- ・支援現場の実態等を踏まえたDV対策基本計画並びに女性支援法に基づく計画の策定

問い合わせ先 協働推進部男女平等政策課
TEL：0942-30-9044
FAX：0942-30-9703

女性のための 総合相談

あなたはひとりではありません
まず、電話してみませんか？

TEL 0942-30-7802
FAX 0942-30-7811

面接・電話相談（面接は要予約）

月曜日・火曜日・水曜日・金曜日・土曜日 10時から18時
日曜日 10時から17時 木曜日 17時から20時
休み…月の末日・祝休日・年末年始

男性のための 電話相談

「男だから」弱音を吐かない、
強くなければ…と思っていませんか？

TEL 080-6787-6172
FAX 0942-30-7811

毎月第2・第4月曜日
16時30分から17時30分まで

開設日時など
詳細はこちら
予約もできます

